

## 令和元年7月 報道機関との定例懇談会 要旨

### □ 情報提供項目

小久慈朝市、市内夏の観光イベント、未来への道 1000 km縦断リレー、さんりく音楽祭 2019 について市長が説明したほか、7月の行事予定、イベント情報などについて報道機関にお知らせしました。

### □ 記者との質疑応答

記者：県への重点事項要望にも盛り込まれていたが、久慈市で恐竜の化石が発見され、県立の博物館施設を市内で建設の実現についての思いを伺いたい。

市：久慈市で発見されたティラノサウルスの歯の化石は、白亜紀後期の非常に貴重なものと伺っている。早稲田大学 平山教授の今月発刊される著書の中でも大きく紹介されている。岩手県でも、この化石の発見については重きを置いていただいている。

三陸ジオパークの取組みを推進しているところで、県立の博物館を久慈市に建設されることを強く要望したい。観光振興上も安定的な集客が見込まれるものであり、琥珀も産出される久慈市では象徴的な施設になり得ると考えている。

記者：県立博物館の整備に向けて県から何らかの方向性が示されているか。

市：具体には特にはない。県からは県北振興に力を入れていただいているところであるが具体策がないように感じている。県総合計画はスタートしているが、検討をお願いしたい。早稲田大学の平山教授の発掘に期待をして支援したい。

記者：発掘調査をする大学の支援策は。

市：バックアップ体制をとりたい。

今後は、「あまちゃんのまち・久慈」に次いで「ティラノサウルスのまち・久慈」がキャッチフレーズとなる可能性もある。

記者：夏休みの集客への取組みは。

市：海をメインとした行事を毎週末に予定している。

平山チームが発掘調査をする際は、市の研究員も参加させてもらうことにしており、新たな発見があれば観光などへの起爆剤になると思う。

早稲田大学の平山教授からは三鉄を利用した恐竜列車の企画もいただいている。

ティラノサウルス関連の企画は、今後、進めていきたい。

記者：現在、久慈市の地域おこし協力隊の人数は。

市：2名を配置している。3名を募集している。